

平成26年度

全国高等学校定時制通信制体育大会

第16回バドミントン大会

開催要項



期日 平成26年8月18日(月)～21日(木)

主催 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会 (公財)全国高等学校体育連盟
(公財)日本バドミントン協会

主管 (公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部バドミントン専門部
神奈川県バドミントン協会

後援 文部科学省 厚生労働省 全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 神奈川県教育委員会
神奈川県高等学校定時制通信制教育振興会 小田原市 小田原市教育委員会
小田原地区高等学校定時制通信制教育振興会 神奈川県高等学校定時制通信制教育研究会
神奈川県高等学校体育連盟 小田原バドミントン協会 (公財) 石澤奨学会
(公財)日本体育協会 (財)東京都体育協会 神奈川県高等学校定時制通信制教頭協会
NHK 日刊スポーツ新聞社

協賛 ヨネックス株式会社



RING!RING!
プロジェクト

この大会プログラムは、
競輪の補助金により作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>



1. 期 日 平成26年8月18日(月)～21日(木)
開会式 平成26年8月18日(月) 15時30分より
競 技 平成26年8月19日(火)～21日(木)
閉会式 平成26年8月21日(木) 15時(予定)より
2. 会 場 小田原市総合文化体育館「小田原アリーナ」 (小田原市中曽根263)
3. 競技内容 (1) 団体戦 都道府県選抜対抗 参加チーム数は男女各1チームとする。
(2) 個人戦 都道府県代表シングルス対抗 参加選手数は男女各2名以内とする。
開催地、神奈川県は、団体戦男女各2チーム、個人戦男女各4名以内の出場とする。
なお、第15回大会で個人戦ベスト8の選手で出場資格のある者は、別枠推薦選手とし、この限りではない。
4. 競技規則 平成26年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び公認審判規程による。
5. 競技方法 (1) トーナメント戦方式による。3位決定戦は行わない。
(2) 団体戦は複1組・単2名で行い、試合順序は、複1・単1・単2で実施する。
同一選手が単複を兼ねることはできない。
21点の2ゲーム先取法で行う。
1対抗試合2試合先取とする。但し、1回戦・2回戦は3試合行う。
(3) 個人戦は21点の2ゲーム先取法で行う。
都道府県代表選手は、団体戦との重複は、妨げない。
6. 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用具及び平成26年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
7. 参加資格 (1) 全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項13の(1)から(11)の規定を満たしていること
(2) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
(3) 以下の生徒の参加については認めない。
①聴講生
②当該校において、卒業を目的としない生徒
③意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する生徒
④通信制課程に所属し、高校生として教育活動が著しく損なわれている者
⑤別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取扱い」の承諾が得られない者
⑥参加費の未払いの者
⑦その他、各競技専門部が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者。及び不良性行や大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた者
(4) 平成26年度に(公財)日本バドミントン協会に登録登録された生徒とする。
8. 組み合わせ (公財)日本バドミントン協会指名の競技役員長(レフェリー)もしくは、競技審判部長(デピュティレフェリー)の指示の下、大会準備委員会との間で、7月5日(土)に厳正に執り行い、都道府県代表者に通知する。
なお、シードは、男女とも第15回大会、団体戦ベスト4、個人戦ベスト8とする。
9. 参加費 団体戦 35,000円 個人戦 3,500円

10. 宿泊・弁当 神奈川県箱根湯本地区「雀のお宿 春光荘」「箱根湯本ホテル」、他
1泊2食 ￥10,185 (税サービス料込、入湯税(150円)別 ただし、高校生は入湯税不要)
昼食弁当代は、￥840 (税込) とする。
注) 取り消しの場合、別途定める規定により、取り消し料が発生する場合がある。
担当業者：日本旅行東京教育旅行支店 (TEL 03-6848-9950 FAX 03-6848-0758)

11. 申込方法 (1) 所定の用紙に必要事項を記入し、平成26年6月27日(金)までに専門部事務局に申し込むこと。

〒245-8588 横浜市戸塚区汲沢2-27-1 横浜市立戸塚高等学校定時制
全国高等学校定時制通信制バドミントン大会 事務局長 木立 敏樹
TEL 045-871-0303 FAX 045-862-5396

- (2) 大会参加費を、平成26年6月27日(金)までに下記口座に振り込むこと。

みずほ銀行 上大岡支店 普通 2531025
全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

12. 表彰 (1) 団体戦 優勝チームに大会優勝杯、文部科学大臣杯、厚生労働大臣杯、小田原市長杯(以上、持ち回り)、賞状、(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを、準優勝・第3位チームに賞状、(公財)日本バドミントン協会の銀メダル・銅メダルを、それぞれ授与する。
(2) 個人戦 優勝者に大会優勝杯(持ち回り)、賞状、(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを、準優勝・第3位に賞状、(公財)日本バドミントン協会の銀メダル・銅メダルを、それぞれ授与する。

13. 都道府県代表者会議

- (1) 日時 平成26年8月18日(月) 13:30~14:30
(2) 会場 小田原市総合文化体育館「小田原アリーナ」内 研修室

14. 備考

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は、できる範囲において主催者側で行うが、その後の処置および負担については参加者の責任とする。
(2) 参加者は、健康保険証を持参すること。
(3) 出場選手は、引率責任者に引率され、引率責任者は選手の行動に対し、全ての責任を負わなければならない。
(4) 大会に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
(5) (公財)日本バドミントン協会環境委員会よりお願い。
① ゴミの分別収集協力してください。
② 宿泊先の部屋から出る時にはエアコン、テレビ、ライトのスイッチを消してください。
③ マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください。

《審判補助の依頼事項》

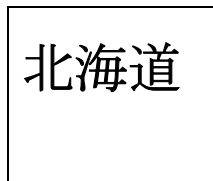
1. 大会の審判補助を各県にお願いする(補助者数1試合、3名必要)。
2. 審判補助については、線審・得点表示係とする。
3. 審判の補助者については、監督・コーチ・選手等規定しない。
4. 団体戦について
① 対戦する双方より、各1名ずつ線審をお願いする。
② 対戦する双方より、1名得点表示係をお願いする。
5. 個人戦について
① 直前の試合のチーム双方より各1名ずつ線審を、敗者より1名得点表示係をお願いする。

全国高等学校定時制通信制バドミントン大会 細則

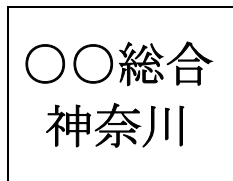
1. 服装

- (1) 選手は、色つき着衣を使用する場合には、(公財)日本バドミントン協会審査合格品を着用しなければならない。都道府県名を漢字で明記したゼッケン(縦15cm 横30cm以内)を、上着の背面中央に四隅固定する(上着にプリントをする場合、遠くから見てもはっきりわかれば構わない)。

例) 都道府県名(以下県名)



県名・学校名



県名・氏名



2. 団体戦

- (1) チーム編成は、男女共、都道府県代表責任者1名、監督1名、助監督1名、コーチ1名、選手4~6名とする。但し、助監督、コーチは置かなくともよい。
- (2) オーダー用紙は、放送の指示により、本部進行係に提出する。
- (3) 試合通告の放送があり次第、指定のコートに集合し、審判員の指示に従い試合を開始する。
- (4) 進行上の都合により、並行試合を行うこともある。
- (5) 1・2回戦の3試合目については、試合開始までに同対抗試合の勝敗が決まっている場合に限り、出場選手の変更を認める。

3. 個人戦

- (1) 試合通告の放送があり次第、指定のコートに直接入り、審判員の指示に従い試合を開始する。

4. コーチ席及びベンチについて

- (1) 競技規則書 公認審判員規程 第3条「審判への助言」 第5項(6)コートの外からのアドバイス②③にあるコーチ席を2つ設ける。なお、コーチは自チーム選手のうしろに位置するものとし、選手がチェンジ・エンズをする際には選手同様に移動するものとする。
- (2) 団体戦におけるベンチについては監督1名、助監督1名、コーチ1名、出場選手(団体戦登録選手)とする。
- (3) アリーナに降りるときは必ずシューズ着用とする。

5. 試合進行

- (1) 団体戦、個人戦の兼ね合いにより、試合順序が入れ替わることがある。
- (2) 進行上の都合により、連続試合になる場合は15分間の休憩時間を入れることができる。ただし、この規定は当該選手個人の連続試合に限る。

6. 棄権

- (1) 事情により棄権する場合は、本人または都道府県責任者または監督が届け出て、確認を受けた後、試合を放棄する。
- (2) 本部より試合通告の放送後、10分経過しても指定の場所、コートに出場しない場合、棄権と見なすこともある。

7. 選手変更

組み合わせ確定後の選手変更は認めない。ただし、団体登録メンバーに限り、都道府県代表者会議30分前までに指定の書面で提出された場合に限り、その変更を認める。

8. 付記

参加資格の解釈については以下のとおりとする。各校定時制バドミントン部、通信制バドミントン部に所属する選手のうち1名でも平成26年度の全国高等学校総合体育大会(各地区大会を含む)に出場した選手がいた場合、その課程のバドミントン部の選手全員が、本大会の出場資格を有しない。